

平成30年度
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（化学）】

専門論文試験課題

＜課題＞

宮崎県庁での化学職職員の業務は、環境対策、工業技術の開発、産業振興など幅広い分野にわたっています（主な配属先は、次のとおり）。

【本庁】環境管理課、循環社会推進課、企業振興課、消防保安課 等

【出先機関等】保健所、衛生環境研究所、工業技術センター 等

近年、火山の噴火や地震の発生による被害が全国で発生していますが、宮崎県でもその備えが課題となっています。

仮に、以下に例示する大規模工場で、地震等の災害に伴い火災等の被害が発生した場合、各所属の化学職職員として、どのような行動、助言等が可能であるか、被害発生の通報受理以降の一連の流れについて、所属間の役割分担も踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

【被災工場の情報】

- 1 貯蔵、使用されている化学薬品
高圧ガス（アンモニア、塩素、酸素 等）
危険物（第四類 特殊引火物、第一石油類 等）
毒劇物（硝酸、硫酸、水酸化ナトリウム 等）
- 2 その他の情報
放射性同位元素の使用の可能性
緊急遮断装置、安全弁等の事故防止装置の作動不良の可能性
配管の亀裂、化学薬品等の漏洩の可能性